

2019  
四季の「対」だより

2019年9月25日発行

浜松音楽友の会  
事務局  
〒438-0078 磐田市中泉114-1  
(090)7034-5890(大場)  
hamatomo1984@yahoo.co.jp

## 「いつか冬にきます」

カウンターテナー 藤木大地

「浜松（はままつ）」～ぼくの音楽人生の中で最も甘酸っぱい響きのする地名かもしれない。

1994(平成6)年10月30日。宮崎大学教育学部附属中学校3年生の少年フジキ(14)は、アクトシティ浜松大ホールで行われた全日本合唱コンクールの全国大会に九州代表の合唱部員(テノール・パートリーダー)として出場していた。



毎日下校時間ぎりぎりまで、学校の音楽室で仲間と一致団結して練習し、宮崎空港では見送りの家族に見守られながら円陣を組み、「全国制覇」を誓って旅立った。

伊丹でバスに乗り換えて浜松に到着、「ホテル米久」にみんなで投宿し、翌朝はホール裏の神社で発声練習をし、必勝祈願をし、中ホールで本番直前のリハーサルをし、大ホールで7分か8分くらいの演奏をした。自分たちの中では、初出場した甲子園の決勝のような大舞台だった。

結果は銀賞。あんなに練習したのに。あんなに心を合わせたのに。おれたちはあんなにうまかったのに。ホールの前の広場で、みんなで泣いた。歌のことであんなに泣いたことはその先にもない。

あの日の浜松に心を置いてきたぼくは、その時の仲間のひとりとの二人旅で翌年の夏休みに浜松を訪れた。アクトシティ浜松の前で写真を撮り、ホテル米久に泊まった。元合唱部の高校生ふたりの傷心旅行だった。それであの日の悔しさが癒えることはもちろんなかった。

大学生になり、オトナになり、新幹線で浜松を通るたびにアクトシティの姿を目にした。思い浮かべるのはいつもあの日のことだった。

2019年4月11日。平成最後の春に、アクトシティ浜松に招いていただいた。24年半前のあの日、小さな心に大きな野望を秘めてみんなでリハーサルをした中ホールに、ぼくはひとりで帰ってきた。世界の巨匠マーティン・カツと一緒に。～これがぼくと浜松の、今年みなさんの前に登場する前の物語です。

四半世紀ぶりのステージは、ほぼ中年フジキ(39)の歌を聴きにきてくださった満場のみなさんに祝っていただき、とても楽しいものになりました。舞台裏ではたくさんのスタッフのみなさんに支えていただき、目のきらきらした制服姿の若い方々にお花を贈っていただき、あんなに甘酸っぱかった浜松の青春の思い出は(もちろんその甘酸っぱさも残したまま)、より特別なものになりました。本当にありがとうございました。

あの秋の日の「ホテル米久」で同室だった、日本一への夢を一緒に追いかけて一緒に歌い一緒に泣いた大切な先輩は、もうこの世界には住んでいません。

そんな彼の魂とも一緒に、幼い心の自己実現のためではなく、音楽を必要としている誰かのために、ぼくはこれからも歌をうたいたいと思っています。

## 会員だより

匂坂幸子

友人の紹介と毎回参加している方からの楽しい声から、私も入会を決めました。やっと片手を超える年を数えるほどになりました。入会後初めての年は、仕事を終え開演時間ぎりぎりに駆け付けました。「はまホール」の満員の人に驚いたのを思い出します。今は、少し時間に余裕が持てるようになり、年4回を癒しのひと時として、演奏者に感謝しながら楽しんでいます。観客席からの「bravo」は、心地よく私の意と重なります。音楽に関して未だ初心者の中には、合間に頂く演奏者からのトークが、温かく知識に繋がるものです。[音楽の都・浜松]を盛り上げる一員として誇らしく、今後も参加したいと思います。

次のコンサートも、我がスケジュールにしっかり印しており、楽しみにしています。

## これからのコンサート予定

**秋** 三浦文彰 ヴァイオリンリサイタル 10月18日(金) 18:45開演

待望の浜松初登場！世界最難関とも言われるハノーファー国際コンクールにおいて、史上最年少の16歳で優勝。NHK大河ドラマ「真田丸」のテーマ音楽も演奏し話題に。最近ではロンドンでロイヤル・フィル、サンクトペテルブルクでゲルギエフ指揮マリンスキー劇場管弦楽団と共演し大成功をおさめたばかり。力強さと繊細さを併せ持つ演奏を是非ご堪能ください。



© DJP Mori

**冬** ラデク・パボラーク ホルンリサイタル 12月5日(木) 18:45開演

チェコ生まれ。18歳でミュンヘン国際コンクール優勝。「美しく柔かな音色」、「ホルンの神童」と評され注目を集めて以来、世界各地で演奏活動を展開。チェコ・フィル、ミュンヘン・フィル、そしてベルリン・フィルと世界トップのオーケストラのソロ・ホルン奏者を歴任。「パボちゃん」の愛称で日本中の音楽ファン、吹奏楽を受する学生にも大人気、ホルン界のアイドルの王道リサイタル、ご期待ください！



© Lucie Čermáková

# 2020年 四季コンサート (予定) 各回共 於：アクトシティ浜松 中ホール 開演：18:45

**春** Katoooon楽団  
4月17日(金) ~こんな編成あり?? 異色のカルテット~

NHK-FM「鍵盤のつばさ」でもパーソナリティをつとめる、作曲家でピアニストの加藤昌則がプロデュース。楽団メンバーは、タンゴの本場アルゼンチンの他、世界各地で演奏活動をするバンドネオンの北村聡、ジャズ・タンゴ・ポップスとジャンルを越え幅広く活躍をするコントラバスの西嶋徹、昨年スロヴェニア国際コンクールで女性として初の優勝を成し遂げた期待のサクソフォンの住谷美帆。意外にもクラシックにマッチした新しい編成で、モーツァルトから加藤作曲のオリジナルの新しい楽曲まで、クラシック作品の面白さを存分にお楽しみいただけます！作曲家ならではの独自の切り口でナビゲートするこの公演は子供から大人まで楽しめるコンサートです。

**夏** 朴葵姫(ギター) feat.望月哲也(テノール) 7月16日(木) 「水車小屋の娘」

クラシックギター界のヒロインとして実力と人気を兼ね備えた国際的ギタリスト・朴葵姫と、オペラのみならずドイツリートも得意とし、大人気ボーカルユニット「イル・デーヴ」のメンバーとしても活躍しているテノール歌手・望月哲也。共にウィーンで研鑽を積んだ2人が取り組む、シューベルトの大傑作「美しい水車小屋の娘」をメインにお楽しみいただけます。前半には朴葵姫のギターで贈る、ギター名作品集を、「アルハンブラの思い出」「森に夢見る」「涙」など、後半への序章のように、ギター一本で語る様々な風景をお届けし、後半には、意に喜び悩む、若き青年の物語「美しい水車小屋の娘」の世界をご堪能いただけます。

**秋** ゴールドベルク変奏曲 10月31日(土) ~弦楽トリオで聴くバッハ名曲集~

映画「羊たちの沈黙」「ハンニバル」でも印象的に使われた「アリア」を含む、バッハの傑作、「ゴールドベルク変奏曲」。ゴールドをはじめとしたピアニストたちが歴史的な名演を残していますが、今回は、日本を代表するヴァイオリニストとして活躍する奥村愛、NHK交響楽団のヴィオラ奏者・御法川雄矢、そして、「弦の国」スロヴァキアから来日しオーケストラ・アンサンブル全沢の首席チェロ奏者を長く務めたルドヴィート・カンタの、いずれも名手たちによる弦楽三重奏で、不眠に悩む伯爵のために書かれたという逸話が残っているこの大作と、誰もが知っている旋律を持つ「音楽の父」バッハの名曲たちで、秋の長い夜を彩ります。

**冬** ダニエル・シュー ピアノリサイタル 12月1日(火)

2015年浜松国際ピアノコンクールへ18歳の最年少参加で3位入賞、2017年最難関コンクールの一つ、ヴァン・クライバーン国際ピアノコンクールにて第3位入賞及び室内楽演奏賞、新曲演奏賞を受賞。「なぜかその演奏に惹きつけられ、心を奪われる豊かな表現の切り口を持ち合わせた“詩人”」「驚異的なテクニックとスピード感」「強烈な体験」と評されるアメリカの若手ピアニスト。人生と共に変化し続ける音楽家達の演奏、浜松コンクールから5年、未来に羽ばたく若手ピアニストの今の音楽をお楽しみください。

### ★会員の皆様へのお願い★

会員登録は、年度が変わりましてもそのまま登録されます。  
退会希望・名義変更の方は、2020年1月末までにお電話またはメールにて事務局へご連絡ください。  
保育室ご利用の方は、コンサートの1週間前までに、大場☎090-7034-5890までお申込みください。  
開場時(開演45分前)から終演までお預かりします。1回500円です。

#### 個人情報の取り扱いについて

当会は個人情報の取り扱いについて「個人情報の保護に関する法律」及びその他の関連法令及びその他の規範、ガイドラインを遵守し、個人情報について適切な管理・取り扱いと保護に努めます。